

第177話 本町域の私塾・寺子屋⑥ 中山町歴史散策

西塔子章塾

西塔子章は、著名な画人である西塔太原（長右衛門）の長男として、文政8年（1825年）に生まれました。父太原から学問を授けられ成人となります。漢学、書法、算法などを村内外の子弟に教授し、学ぶ者は100人余りにおよびました。塾は柳沢寺を利用していました。

老後は「痴翁」と称し、明治28年（1895年）に亡くなりました。享年71歳でした。碑は西塔家屋敷の北東、今は埋められてしまった「とら沼」の岸辺に建てられています。

原田元順塾

原田元順師は文化元年（1804年）に達磨寺の原田市郎左衛門家に生まれました。幼名は市次郎。成長してから江戸に出て医学を東都馬島某に学びました。帰郷して金沢の白山神社の登り口あたりに居を構えました。医師を村人に施すと同時に、漢学、算法、書道、英語を教えました。その門人は100人余りといわ

れており塾も盛況でした。その中の1人に鈴木長五郎氏がいます。長五郎氏は師の薫陶を受け、師同様に進取の気性に富み、明治初年に養蚕、製糸、蚕種の事業に大きな業績を残して村の指導者となりました。

明治15年（1882年）4月、門人等が師の子の勇美氏に図り酬恩碑を塾跡に建立しています。その後、昭和10年代に白山神社の参道を拡張したときに、碑は鳥居の下に移されて現在に至っています。碑文によれば、師の妻は柏倉一族から嫁ぎ、安政5年（1858年）に早世し、師は明治5年（1872年）8月に微恙（軽い病）に罹りこの世を去りました。

なお、碑文を揮毫した子の勇美は山形県庁に勤務の後、関東地方の官途に就き、のちに東京に移り住みましたが、消息は明らかではありません。

※引用 中山町史 中巻
第10章第2節 教育

私たち地域おこし協力隊です！ No.45

～ レトルト芋煮商品試食会パート1～

皆さんこんにちは。地域おこし協力隊の伊藤です。
3月26日（土）に、昨年10月から中山町観光協会芋煮会振興部会で開発を進めているレトルト芋煮の試食会を実施しました。

実際に『ぐっと山形』に来場者された方に、「江戸時代に発祥した棒鱈芋煮」と「普段私たちが食べ親しんでいる牛肉芋煮」の2種類の芋煮を試食していただきました。

約5時間の試食会で、約110名の方に試食していただきアンケートをご記入いただきました。

全体的にお客様の反応は好評で、棒鱈芋煮に関しても「これは旨い！」という声や「棒鱈の生臭みがなく美味しい」との声が寄せられました。

アンケート結果は、次回のコラムで簡単に触らせていただきます。



●協力隊への問い合わせ先● 伊藤 ☎662-2114（産業振興課） / 稲垣 ☎662-2235（教育課）